

## 令和2年度 学校評価

### 1 学校評価について

本校では、「時習、自律、慈愛」の校訓のもと、一人ひとりを大切にされた指導を目標に教育活動を行っています。本校の教育活動が適切に実施されているかを、この学校評価事業を通して検証し、常にPDSCサイクルに基づいて、教育活動の省察を心がけ、改善を図っていきたいと考えております。

### 2 学校評価アンケート結果

#### (1) ① 主な生徒アンケートの結果（高校）

質問項目	1年	2年	3年
授業がわかりやすい	95%	94%	91%
進路指導、相談が充実している	91%	90%	98%
授業でICT機器が積極的に用いられている	91%	87%	100%
特別講座の内容は充実している	79%	78%	84%

#### ② 主な生徒アンケート結果（中学）

質問項目	1年	2年	3年
授業がわかりやすい	100%	100%	100%
授業はきめ細かく丁寧に指導されている	100%	93%	91%
特別講座（放課後・長期休業中など）は学力向上に役立っている	88%	87%	100%

生徒アンケートでは、高校と中学で学習環境が若干異なるため、質問項目が異なる。高校・中学ともに、授業、進路指導など、概ね良好な結果を得ている。

高校では、授業中の生徒の取組みについて、コース間で差がある。コースの特性に応じたカリキュラムや授業内容が実現できるよう、学習指導に工夫が求められている。

中学校でも、授業に対しては良好な結果を得ており、放課後や長期休業中の特別講座についても、学力向上に役立っていると考えられる生徒がどの学年も80%以上であった。

#### (2) 保護者アンケートのまとめ

保護者アンケートでも、学習指導・進路指導・生活指導において、概ね良好な回答を得ている。今後も生徒指導をより充実していくことが、学校評価につながっていくと信じ、平素の学習指導・進路指導・生活指導に努めたい。

高校では、進路指導や部活動についての関心の高さが伺える。これまで以上に保護者との連携を密に図っていく必要がある。

中学校の保護者は、学習および学校生活について、レベルの高い指導を期待している様子が伺える。保護者との連携を密にするためにも、学習支援システム「Classi」や「Go for it!」（学習の手引き）の活用を工夫する必要がある。

#### (3) 学校関係者評価のまとめ

父母会役員3名により、11月に実施。授業見学、購買、寮の設備および昼食の様子、放課後の部活動の見学を行っていただき、教員、生徒複数からの聴き取りを通して、それぞれ意見をいただいた。意見の概要は以下のとおりである。

授業の見学では、生徒が静かに授業に取り組んでいる様子が見られ、概ね良好であった。体操服で授業を受けている姿も多く、コロナ禍での柔軟な服装対応はよかった。購買においては、種類・量ともに豊富で、販売スペースも密にはなっていないが、短時間のためやや混雑するときもあり、何か対策を考

えてほしいという意見もあった。寮の食事については、パーテーションがあるため安心して食べることができ、食事の内容については味・ボリュームともによい。寮の設備については、洗濯機の追加など今後検討してほしい。部活動においては、どの部活動も礼儀正しく、向上心を感じるような気持ちよい挨拶をしていた。

生徒や先生方との面談においては、今年は特に学校行事の中止や縮小が多く、生徒の自主性が発揮できる機会が少なかったことを強く感じているようであった。また、本校の魅力としては、スクリーンやプロジェクターを利用した授業の充実をあげていた。教員の異動がない点も大きな魅力としてあげていた。また、校則に関する教員との協議が要望としてあがった。

#### (4) 省察

生徒、保護者のアンケートから、改善すべき点を分析し、改善に向けて取り組んでいく予定である。